

松井建設北陸支店「森本社宅・寮」計画

C L T や県産木材で脱炭素

外壁などの断熱性を強化 健康増進とB C P 対応へ

20日に地鎮祭

松井建設北陸支店 組を進めていく構え
(金沢市神谷内町二一 だ。
10、山田彰常務執行 建設規模は、W造一
役員支店長)は、同市 部R C造3階建て延べ
堅田町地内における 1423・35平方
「森本社宅・寮建て替 (建築面積532・28
え計画」で、C L Tや 平方)で、1階はR C造
石川県産木材の使用を でエントランス、トラ
はじめ、断熱性能の強 ンクルーム、物置、駐
化など省エネ化を図 車場など、2・3階は
り、脱炭素社会の実現、 W造で、2階に単身用
S D G sの達成の取り 1 Kが12室、トレーニ

ンクルーム、3階に家
族用2 L D Kが4室、
防災室(B C P 対応)、
ゲストルーム、備蓄倉
庫、屋上にソーラーパ
ネルが設置される。
再生可能エネルギー
として、C L Tや太陽
光発電システム、電気
自動車の導入、蓄電池
による蓄電を図るほ
か、省エネとして「Z
E H I M」の認証取得
に向けて、外壁や屋根
開口部の断熱強化、L
E D 照明、人感センサ
ーによる自動消灯制
御、高効率空調、全熱
交換形換気機器などを
採用。
心と体の健康維持、
増進では、トレーニン
グルームを設けるほ
か、内装材に木材や抗
菌・抗カビなどの機能
性壁紙を用いる。B C
P 対応として防災室、
直圧給水、雨水貯留夕

ンク、マンホールトイ
レを設置し、電気自動
車による緊急搬送も行
う。
なお、今回の計画に
際し、「いしかわの木
を活かす民間施設普及
拡大事業」など、各種
補助金制度を活
用する予定であ
る。
場所は同市堅
田町甲85-1で
敷地面積は11
74.49平方メ
ル。
松井建設の設計
・施工で20日に
地鎮祭を行う。
2023年4月
ごろの完成を予
定している。

クローズアップいしかわ2022



山田常務執行役員北
陸支店長は「カーボン
ニュートラルへの取り
組みとして県産木材な
どを有効活用し、社会
貢献に努めたい」とし
ている。

S D G sの取り組みなどを重視した
「森本社宅・寮計画」の完成予想図